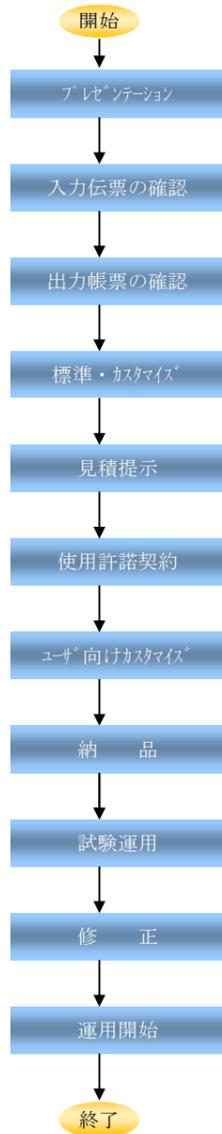


【プレゼンテーション～受注・納品までの流れ】

==Web型ERP『ハヤブサ』の標準機能とカスタマイズ対象項目一覧==



入 力 系			帳 票 系		
画面名	標準	カスタマイズ	帳票名	標準	カスタマイズ
＜プロジェクト管理系＞			＜プロジェクト管理系＞		
営業計画作成画面		○	プロジェクト別原価管理表	○	
予算作成画面	○		プロジェクト来歴一覧		○
プロジェクト登録M(受注/失注)画面		○	＜販売管理系＞		
プロジェクトM(レバ)		○	見積書		○
プロジェクト別原価確認	○		納品/請求書		○
プロジェクト来歴		○	入金リスト	○	
＜販売管理系＞			未入金リスト	○	
見積書作成画面		○	回収予定表	○	
見積来歴閲覧画面		○	得意先元帳	○	
売上データ入力画面		○	売掛残高一覧表	○	
入金データ入力画面	○		営業計画書		○
得意先元帳データ閲覧画面	○		営業支援データ一覧		○
営業計画系作成画面		○	得意先別商品納入一覧		○
見積積算		○	＜発注・仕入管理系＞		
見積調書		○	発注書		○
回収予定	○		支払リスト	○	
得意先別商品納品一覧		○	支払予定表	○	
納品書業者選択	○		仕入先元帳	○	
＜発注・仕入管理系＞			買掛残高一覧表	○	
発注データ入力画面		○	＜在庫管理系＞		
仕入データ入力画面		○	棚卸表	○	
検品データ入力画面		○	入庫リスト	○	
支払データ入力画面	○		出庫リスト	○	
仕入先元帳データ閲覧画面	○		在庫表	○	
支払予定	○		倉庫別在庫閲覧	○	
＜在庫管理系＞			＜旅費・経費管理系＞		
棚卸データ入力画面	○		経費伝票リスト	○	
入庫データ入力画面	○		旅費伝票リスト	○	
出庫データ入力画面	○		仮払伝票リスト	○	
在庫データ確認画面	○		＜日報・勤怠管理系＞		
倉庫別在庫閲覧	○		勤怠管理表	○	
仕掛品確認画面	○		営業日報一覧表		○
備品購入データ入力画面	○		作業日報一覧表	○	
＜旅費・経費管理系＞			スキル教育データ一覧		○
経費申請/承認/精算画面	○		タイムカードブルーリスト	○	
旅費申請/承認/精算画面	○		＜台帳管理等＞		
仮払申請/承認/精算画面	○		得意先台帳	○	
備品見積調書	○		仕入先台帳	○	
消耗品見積調書	○		商品台帳		○
経費支払予定	○		備品台帳	○	
＜日報・勤怠管理系＞			社員台帳	○	
営業日報入力画面		○	部門(支店)台帳	○	
作業日報入力画面	○		プロジェクト台帳		○
勤怠データ入力画面	○		担当者別売上実績表		○
労務データ閲覧画面	○		銀行別支払一覧表		○
＜手形管理＞			支払手形管理表	○	
受取手形閲覧	○		受取手形管理表	○	
支払手形閲覧	○		資金繰表	○	
信販会社別債権一覧	○		＜手形管理＞		
資金繰データ確認画面	○		受取手形閲覧	○	
＜その他オプション＞			支払手形閲覧	○	
トレサビリティ		○	資金繰データ一覧	○	
保守系		○	振替伝票ブルーリスト	○	
			＜その他オプション＞		
			実績系		○
			統計系		○

Webアプリケーション連携ソリューション

ハヤブサ



ERPパッケージを使用したWeb対応の悩みや課題は、ハヤブサが一気に解決します。

まかせたぞ、ハヤブサ！

業務運用画面や帳票が合わない	移行が困難だ	機能が分割され過ぎて	業務活用が難しい
負担がかかりすぎる	高コスト	戦略的情報化が難しい	連携パッケージを
高コスト	カスタマイズコストが高い	カスタマイズコストが高い	パッケージを
連携パッケージを	連携パッケージを	連携パッケージを	連携パッケージを

"スタンドアロン型ERPパッケージのWeb化は難しい"

"時間もコストもかかる"は、もう過去の話になりました。

導入実績の多い低コストのERPパッケージ市場。

ところが、"Web化"の時代を迎えて、

高額バージョンアップコストや運用コストが

ビジネスを阻害し、早急な解決が求められています。

「ハヤブサ」は、現在運用中の

スタンドアロン型パッケージ(財務会計や給与会計)と連携した上で、

販売、仕入、在庫、原価、労務、人事管理等の業務を

低コストでWeb対応化いたします。

ここで大差がつく。

「ハヤブサ」が顧客満足度や営業戦略の情報化重視のシステム構築を実現します。

ハヤブサの優位性

1

システム

◎ Webアプリ開発環境に特化

業務用サーバはJava言語を使用した標準プラットフォーム上で安定稼働します。また、ユーザが現有する財務会計や給与会計等、法改正の多い基幹業務パッケージとは、必要最小限のデータ連携で運用可能です。

運用業務端末は、ブラウザ(IE)が実装されていれば、社内イントラやインターネット回線を経由して、世界中の拠点から運用することが可能です。また、運用する業務画面はJavaScript、HTMLで提供されます。このため現有機器(PC)の有効活用が可能です。

ハヤブサの優位性

2

カスタマイズの容易性

◎ データベースの規格化

市販ERPパッケージでは、画面や帳票を標準化し、「ノンカスタマイズ」をビジョンとしているため、ユーザ別の業務ノウハウの増設コストが高額になる他、データの多重入力や運用コストが高くなるデメリットもあります。

「ハヤブサ」では、各種業務に必要なデータベースを標準化し、特にユーザの戦略的情報処理技能や業務処理と不一致な業務画面や帳票の「カスタマイズ」を低コストでサポートすることを前提としています。

◎ カスタマイズツールの提供

「ハヤブサ」は、別売りのWebシステム開発支援ツール *Web Excellent* の統合環境で製作しており、ユーザーニーズに対応して、従量課金方式で提供することが可能です。

WEB APPLICATION DEVELOPMENT SUPPORT SOLUTION

ハヤブサの優位性

3

内部統制支援

- ◎ 組織、職権、権限管理の設定をユーザに開放しています。このため、メニュー、画面、帳票、更新等の操作を統制できます。
また、業務データ投入から決済に至るワークフローをユーザ別に設定することが可能です。

ハヤブサの優位性

4

コストパフォーマンス

- ◎ 「ハヤブサ」は無償のWeb統合環境で開発されており、基本的にライセンスフリーでユーザに提供致します。このため、従来のERPパッケージと比較して、運用コストが大幅に低減されます。
(ただし、クライアント数やデータ量に対応したサーバ系ハードウェアリソースは、ユーザでご用意頂きます。)

ハヤブサの優位性

5

AMO(アプリケーション・マネジメント・アウトソーシング)の充実

- ◎ 「ハヤブサ」では、AMO契約により、「設計ドキュメントの公開」、「計画、開発、保守、維持管理」サービスを実施致します。このため専門スキルを持った継続的な調整、維持から解放され、大幅なコスト削減効果が図れます。

*1 J2EE、Tomcat/Apacheは、いずれかを選択

*2 サーバサポートOS、ミドルソフトウェア

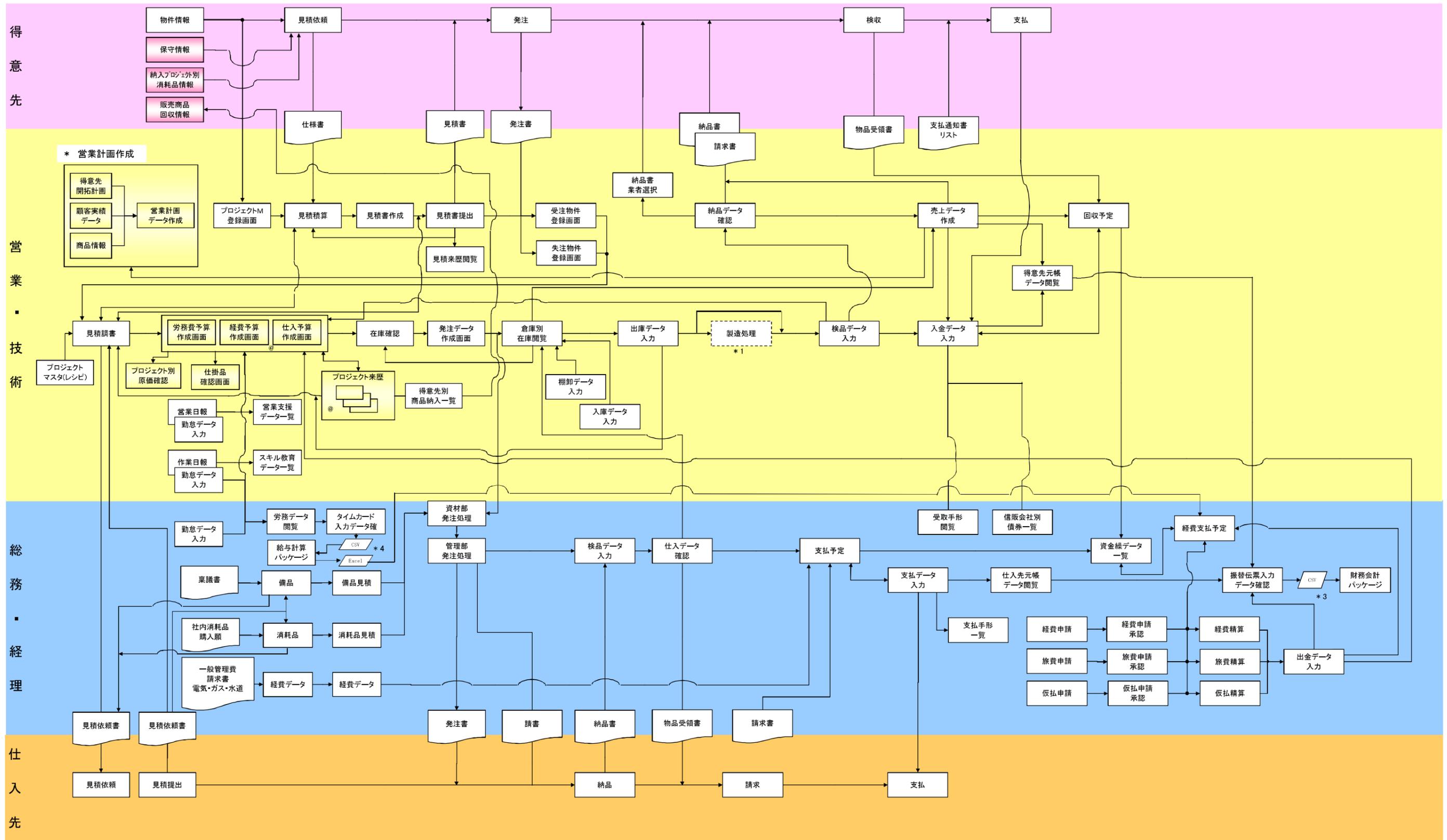
- ・ Windows Server:
Microsoft Windows 2000 Server、
Microsoft Windows Server 2003、
Microsoft Windows Server 2008、
Microsoft Windows Server 2008 R2
- ・ Linux:
CentOS 4.8、
Red Hat Enterprise Linux 5.3 (x86/x64)
- ・ J2EE 1.4
- ・ Apache/Tomcat (Ver.5.5)
- ・ データベースエンジン (JDBC準拠)

*3 クライアントサポートOS、ミドルソフトウェア

- ・ Windows:
Microsoft Windows 2000 Professional、
Microsoft Windows XP 各エディション、
Microsoft Windows Vista 各エディション、
Microsoft Windows 7 各エディション
- ・ Linux Desktop: (Excel帳票は使用できません)
Fedora Core
- ・ ブラウザ:
Microsoft Internet Explorer 6、7、8
Mozilla Firefox 3(但し、運用上要確認)
- ・ Microsoft Excel: (帳票出力用)
Excel 2000、2003、2007、2010

・Windows、Windows Server、Excel、Internet Explorerは、米国Microsoftの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
・Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
・Linuxは、Linus Torvaldsの登録商標です。
・Red Hat Enterprise Linux、Fedora Coreは、米国Red Hatの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
・Apache、Tomcatは、米国Apache Software Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

ハヤブサの基本システム構成概要と処理フロー図



*1 MES(製造実行システム)は別途カタログ *2 EDI対象処理(JIS X 7012準拠) *3 勘定科目別集計データ *4 月次労務データ *5 実績も同時に管理